

■ 議題1のテーマ「これからの自然科学系研究者にとって、市民意識を捉えることは重要か。そもそも、市民意識は捉えられるのか。」という問いについて、お考えをお示してください。

- ・ 科学知の探索や蓄積、その利用は、知的活動の拡充や社会的恩恵の創出等といった観点から価値の高い営みである一方、科学知の扱われ方によっては、特定の個人や集団、人類に対して、物理的・精神的な側面から負の影響をももたらし得る。
- ・ このような科学知の特徴から、少なくとも研究者や専門家、政策担当者等は科学的側面のみならず社会的側面にも注視する必要がある。
- ・ 特に公費を用いた研究の実施では、公的な目的に資することが奨励されるため、当該研究者は市民意識にも留意する必要があるように考える。
- ・ 市民意識との向き合い方としては、研究者が一般市民に自身の研究を説明したり、その反応により、（今後の）研究内容のあり方や方向性を調整したりすることが挙がる。
- ・ 市民意識が捉えられるかどうかは、定義やその射程、主体等に依存する。